

非結球レタス

農薬取締法上、「レタス」と「非結球レタス」は別の作物である。

「非結球レタス」には、「非結球レタス」「レタス類」「葉菜類」「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

「非結球レタス」には、サラダ菜、かきちしゃ、リーフレタス等が含まれる。

—— 発病・加害時期
—— 発病・加害最盛期

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作型・病害虫名													
初	冬	ま	き	トンネル被覆									
				定植									
早	春	ま	き	収穫									
				は種									
晩	夏	ま	き										
灰 菌 軟 ア ネ ヨ ハ	色 か 核 腐 ブ ラ ム シ ネ キ リ ム シ ト ウ ム シ ハ ス モ ン ヨ ト ウ	び 病 病 病 類 類 シ シ シ ウ	病 病 病 類 類 シ シ シ ウ										

灰色かび病

留意事項

- 1 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。
- 2 薬剤耐性菌が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- 3 QoI剤<<11>>、SDHI剤<<7>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 排水を良好にし、ポリフィルムなどでマルチングを行う。
- 2 被害株は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) <1> 【1500～2000倍 21日／2回】
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) <<11>> 【2000倍 7日／4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [アフエットフロアブル](#) ≪7≫ 【2000倍 前日／3回】

菌核病

留意事項

- 1 土壌中に黒いネズミのフンのような菌核が残り伝染源となる。
- 2 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。QoI剤≪11≫、SDHI剤≪7≫は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 田畑輪換を図る。
- 2 排水を良好にし、ポリフィルムなどでマルチングする。
- 3 連作を避ける。
- 4 被害株は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- 5 収穫残さをほ場外に持ち出し処分する。
- 6 定植前に、たん水処理を行う。
- 7 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) <1> 【1500～2000倍 21日／2回】
 - ・ [ポリオキシシンAL水溶剤](#) <19> 【2500倍 14日／3回】
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) ≪11≫ 【2000倍 7日／4回】
 - ・ [スクレアフロアブル](#) ≪11≫ 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [パレード20フロアブル](#) ≪7≫ 【2000～4000倍 前日／3回】

軟腐病

留意事項

- 1 高温多湿時に多発する。
- 2 キノンドーフロアブルは、水産動植物に強い影響を与える恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 排水を良好にし、ポリフィルムなどでマルチングを行う。
- 3 被害株を早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- 4 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [キノンドーフロアブル](#) <M1> 【800～1000倍 30日／5回】
 - ・ [マスタピース水和剤](#) <ー(生)> 【1000～2000倍 前日／ー】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [バリダシン液剤5](#) <U 1 8> 【800倍 3日／3回】
- ・ [スターナ水和剤](#) <3 1> 【2000倍 14日／2回】

アブラムシ類

防除方法

- 1 寒冷しゃで苗を被覆し、侵入を防ぐ。
- 2 シルバーポリフィルムでマルチングを行う。
- 3 下記の薬剤を、セル成型育苗トレイ（培土）に処理する。
 - ・ [アベイル粒剤](#) <4 A> <2 8>
 【40g／セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊
 （約30×60cm、使用土壌約1.5～4L） 株元散布 育苗期後半～定植当日／1回】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4 A> 【2000～3000倍 3日／2回】
 - ・ [コルト顆粒水和剤](#) <9 B> 【3000～4000倍 7日／3回】
 - ・ [ウララDF](#) <2 9> 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [トランスフォームフロアブル](#) <4 C> 【2000倍 前日／3回】

ネキリムシ類

防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [ダイアジノン粒剤5](#) <1 B>
 【6kg／10a 全面土壌混和または作条土壌混和 は種時または定植時／2回】
 - ・ [フォース粒剤](#) 劇 <3 A> 【9kg／10a 全面土壌混和 定植前／1回】
 - ・ [アクセルベイト](#) <2 2 B> 【3～6kg／10a 株元散布 前日／2回】

ヨトウムシ

防除方法

- 1 下記の薬剤を、セル成型育苗トレイ（培土）に処理する。
 - ・ [アベイル粒剤](#) <4 A> <2 8>
 【40g／セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊
 （約30×60cm、使用土壌約1.5～4L） 株元散布 育苗期後半～定植当日／1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [グレース乳剤](#) <3 0> 【2000～3000倍 3日／2回】
 - ・ [トルネードエースDF](#) <2 2 A> 【2000倍 7日／2回】
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) <5> 【5000倍 7日／2回】
 - ・ [フェニックス顆粒水和剤](#) <2 8> 【2000～4000倍 前日／2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ B T 剤 < 1 1 A > (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)

ハスモンヨトウ

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 下記の薬剤を、セル成型育苗トレイ（培土）に処理する。
 - ・ [ベリマークSC](#) < 2 8 >
【400倍 0.5L／セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット 1 冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4L） かん注 育苗期後半～定植当日／1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフーム乳剤](#) < 6 > 【1000～2000倍 3日／3回】
 - ・ [カスケード乳剤](#) < 1 5 > 【4000倍 3日／3回】
 - ・ [ディアナSC](#) < 5 > 【2500～5000倍 前日／2回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) < 2 2 B > 【1000～2000倍 前日／2回】
 - ・ B T 剤 < 1 1 A > (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)

注 1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注 2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。